

週刊 学びのコミュニティ

第46号

平成22年4月7日発行



～ご入学、ご進級おめでとうございます～



4月6日徳島大学の入学式が開催されました。春休み中、静かだった学内が一気に賑やかになりました。少し緊張した様子の学生さん、期待に満ち溢れた笑顔の学生さん…その表情は様々ですが、これから始まる大学生活が充実したものであるよう、エールを送ります。この学生支援室のことも少しずつ知ってもらい、新たな利用者がどんどん増えていったらいいなと思っています。

学生支援室のことを簡単に説明すると…平成20年度より、地域の社会人のみなさまを『大学教育ボランティア』として授業にお招きし、学生-社会人-教員の三者で互いに学び合おうという取り組みをしています。このお部屋はその活動拠点。どなたでも出入りしていただけるオープンなスペースです。特徴は次の3つ。

☆高大接続授業の質問を受け付けます。

月曜日のお昼休みは物理と生物の教員が在室、

水曜日のお昼休みはスカイプで物理の教員と繋いでいますので、お気軽に質問にお越しください。

☆貸し出し可能な図書が3000冊以上あります。

お昼休みや空き時間にお気に入りの1冊を見つけてみませんか？

☆“学びのコミュニティ”活動をしています。

たくさんの自主講座が実施されています！

学生主催の学習会、先生を招いての課外学習など、様々な講座がこの部屋で行われます。

早速お知らせですが、“学びのコミュニティ”活動から生まれた、学生による自主学習会「Hatoba」主催の人気企画、星空観賞会の第4弾『土星観望会』が本日より開催されます。

日時： 平成22年4月7（水）、9（金）、15（木）、16日（金）

19時00分～21時（雨天、曇り中止）

*4日間のうちお好きな日を選んで頂いても、全てに参加して

頂いてもOK！同じプログラムです*

学生支援室に集合し、総合科学部 伏見賢一准教授のお話を伺ってから、

5号館の屋上に移動、土星観望を楽しみます。

お申し込みはまだ間に合います！こちらまでどうぞ。





社会人ボランティアのみなさんよろしくお願いいたします



先にご紹介しましたこの取り組みもこの春で3年目。全学共通教育の共創型学習科目と一部の教



養科目で、社会人の方々に授業へ参画して頂きます。学生さんの履修登録に先立っ

て、授業に参加して頂く社会人ボランティアの方々が決定しています。それらのみなさんに集まって頂き、3月29日、30日に顔合わせと新年度の打ち合わせを行いました。

今年度は、この取り組みと共に歩んでくださっている、取り組



み参加歴3年目の“常連さん”に加え、新たに興味を持ってメンバーに加わってくださった社会人の方も多く、参加総数延べ42名(過去最多)の方々にご協力頂きます。アドバイスやアイデアをお気軽に寄せて頂き、それらを咀嚼しながら、この取り組みをよりよいものにしていきます。また、社会人の方々から影響を受ける学生さんも多くありますが、学生さんと触れること、ディスカッションしていく中で変化していく社会人の方もまた多くいらっしゃいます。今年度もそんな変化、人から学ぶ姿を近くで感じられることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします!!



♪社会人から学生へ♪ メッセージ

いかに社会情勢が変わろうとも英知と徳を常に持ち、夢を捨てず、理想は高く持って精進してほしい。(70代男性)

世代を超えた交流を楽しみにしています。(60代男性)

勉強は自己実現のため。生涯学び続けてほしい。(60代女性)

社会人に対する反発でもいいので、何か声に出してみてください。(60代女性)

人が生きている限り学ぶことは尽きないと思いますが、

- ① 読書の重要性とその効用
- ② 生きていく上での人間関係の大切さを伝えればと思います。(60代男性)

学生時代、若いころに本から受け取った内容は、著者の年齢になって初めて理解できるようになった。本を読むことは居ながらにして多くの人の生き方を経験できる。それらを伝えたい。(70代男性)



～編集後記～

こぼれるように咲いていた桜の花が散り始めました。散ってゆく姿もまた美しい桜、来年はどんな気持ちで見上げているのだろう・・・その時の自分が今より少しでも成長しているように、みなさんと一緒に学んでいきたいとこの始まりの季節に思います。

希望の見えない社会だと言われる昨今、確かに社会は厳しいところですが、それでも社会に出て楽しい、働いて、生きていくって素晴らしい、人生の先輩である社会人の方々が、そんな“希望”を学生さんに語ってくださったらなと思っております。(境)